

塩竈らしい100の暮らしの進捗状況

塩竈らしい100の暮らしの進捗状況

分野ごとの令和6年度実施項目数と全項目数

分野1 子ども	実施項目 12/14	分野5 交流	実施項目 8/11
分野2 福祉	実施項目 5/9	分野6 文化	実施項目 13/18
分野3 生活	実施項目 8/12	分野7 協働	実施項目 6/11
分野4 産業	実施項目 12/18	分野8 浦戸諸島	実施項目 7/7
合 計		実施項目	
		71 / 100	(71%)

「塩竈らしい100の暮らし」一覧表

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
1	1	子ども	運動部の学生が坂道で トレーニングする暮らし 	夕方になると、急な坂道を利用してトレーニングをする学生たちの仲間を励ます声が響く。毎年この町からは、脚力を武器に全国で活躍する選手が現れる。	交通安全対策事業	市民生活部市民課
2	1	子ども	町内会の盆踊りで 子どもたちが跳ね躍る 暮らし 	各町内会では住民の手による夏祭りが毎年開催される。当日はお神輿や盆踊りに子供たちが元気に参加するので、運営にあたる親世代や祖父母世代にも活気が生まれる。	ジュニアリーダー育成 事業	教育部生涯学習課
3	1	子ども	放課後、子供たちの 笑い声が響く暮らし 	放課後になると近所の公園や空き地に子供たちが集まり、子供だけの世界をつくって遊んでいる。近くを通る住民やお巡りさんが子供たちの様子を見守る。	①防犯対策事業 ②公園施設長寿命化計 画策定事業	①市民生活部市民課 ②産業建設部土木課
4	1	子ども	校庭で凧揚げをする暮らし 	正月、学校の校庭には凧揚げの子供たちの姿が見られる。腕に覚えのある近所の大人たちが、凧の作り方や揚げ方のコツを教えながら子供たちの遊びを見守っている。	①小学校遊具基礎保護修繕 (小学校7校、遊具基礎の露 出改善) ②グラウンド砂搬入・敷き 均し(小学校4校)	教育部教育総務課
5	1	子ども	読み聞かせで 絵本に親しむ暮らし 	小さい子供が公民館や図書館に行くと、スタッフや保護者、ボランティアの中高生などが絵本の読み聞かせをしてくれる。塩竈の民話をもとにした紙芝居を鑑賞できる日もある。	市民図書館運営事業	教育部生涯学習課
6	1	子ども	地区の新年会や忘年会で 子供たちと歌う暮らし 	新年会、忘年会、敬老会など、町内会のイベントで住民らの交流が深まっている。毎回、地域の子供たちの合唱は大人たちの一番の楽しみ。大人たちも一緒になって歌う。		

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
7	1	子ども	子供たちが町の未来を 話し合う暮らし 	地域や学校などで、町の現状や未来について子供たちが意見を言う機会がある。子供たちは意見を言うために町のことを学び、大人は子供たちの考えを知ることができる。	①小中学校総合的学習推進事業 ②小学校副読本関係事業 ③学校向け出前講座	①教育部学校教育課 ②教育部学校教育課 ③教育部生涯学習課
8	1	子ども	体験を通じて塩竈の良さを 知る暮らし 	子供たちが塩竈の文化、産業、職業などを体験を通して学べる施設がある。さまざまな職業・立場の人が施設の運営に関わり、施設内外での職業・世代を超えた交流が生まれている。	①地域のおしごと体験事業 ②しおがま「何でも」体感団	①福祉子ども未来部子ども未来課 ②教育部生涯学習課
9	1	子ども	地元で働きながら 子育てをする暮らし 	地域には十分な保育定員が用意されている。市内や近隣にはさまざまな職種があり、親たちは働きながら子育てしやすい。通勤に長い時間を奪われないので子どもとゆっくり過ごす時間も確保できる。	①藤倉児童館及び放課後児童クラブ指定管理運営事業 ②就学前教育・保育施設等整備事業	①福祉子ども未来部子ども未来課 ②福祉子ども未来部保育課
10	1	子ども	勉強を口実に 子どもたちが集まる暮らし 	放課後や休日、集会所や児童館に子どもたちが集まって教科書を広げている。教師経験のある住民や近所の大学生がボランティアで勉強を教えているが、いつも友人とひそひそ話をしている子もいる。	①アフタースクール事業 ②放課後子供教室	①福祉子ども未来部子ども未来課 ②教育部生涯学習課
11	1	子ども	図書館の学習スペースで 集中して勉強する暮らし 	図書館の自習コーナーやコミュニティセンターの学習室など、中高生が勉強に集中できる場所がある。努力して目標を達成した先輩の姿を見た学生らは「勉強は自分でするもの」ということを学ぶ。	市民図書館運営事業	教育部生涯学習課
12	1	子ども	子どもたちの通学を地域で 見守る暮らし 	毎朝夕、通学中の子どもたちと地域住民との挨拶の声が聞こえる。通学路を走る車は常に子どもたちに注意して徐行している。夕方、家々の門灯や玄関灯は早めに点灯される。	①子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業 ②交通安全対策事業 ③スクールガード・リーダー配置事業	①秘書広報課 ②市民生活部市民課 ③教育部学校教育課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
13	1	子ども	給食で地元の食材を 日常的に味わう暮らし 	各校で作られる給食には塩竈産の魚介や野菜、塩・味噌・醤油などがふんだんに使われ、郷土学習の生きた教材になっている。生産者にとっては地域の子もたちを育む営みが生きがいとなる。	①かまぼこ等の水産練り製品を給食で提供 ②学校給食版「みなと塩竈海保カレー」の提供	教育部教育総務課
14	1	子ども	子どもたちが大人の 知らない世界をもつ暮らし 	近所の子もたちが、子どもだけの秘密の国を作って遊んでいる。小さい子をみんなで守ることは暗黙の掟。大人たちは子どもたちの世界を邪魔しないようにさりげなく見守っている。		
15	2	福祉	祖父母が孫に手を引かれて 坂を登る暮らし 	小さな子が祖父母の手を引いて歩く。足腰自慢の祖父母も「孫にはもう負けるね」と笑う。坂の途中の茶店に孫と寄るのも楽しみ。坂を走る車は歩行者優先を徹底している。	交通安全対策事業	市民生活部市民課
16	2	福祉	家族で毎日 「しおがま100歳体操」を 続ける暮らし 	市民有志が専門家の助言を受け、子供も高齢者も一緒に取り組める楽しい体操を考案した。合理的に健康増進を図れるだけでなく、家族で取り組むことで互いの健康観察にも役立つ。	しおがまトロっとエクササイズ（一般介護予防事業）（R5完了）	福祉子ども未来部高齢福祉課
17	2	福祉	健康についての勉強会で 情報交換する暮らし 	近所のコミュニティスペースで定期的に健康や病気についての勉強会が開かれている。専門家による助言や参加者どうしの情報交換を通して、住民の保健意識は向上した。	まちづくり・しおがま 出前講座	教育部生涯学習課
18	2	福祉	まちを歩く高齢者を 地域で見守る暮らし 	地域を歩く高齢者を近所の人が見守っている。危険がないように声をかけ、必要に応じて家族や施設に連絡する。近くの間番の巡査も地域の人の様子を把握し、頻繁に見回っている。	防犯対策事業	市民生活部市民課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
19	2	福祉	神社や公園でヨガや太極拳を楽しむ暮らし 	商店街にある神社の境内や住宅地の公園で太極拳の稽古をする。年齢も性別も体格もさまざまな参加者が、ゆったりとした動きの中で自分の心身と向き合う。別の日にはヨガ愛好者のグループが活動している。		
20	2	福祉	働く人の健康を大事にする 職場で働く暮らし 	多くの事業者の間に、従業員が長く元気に働けることが自社の利益につながるという意識が浸透している。そのため従業員の体にかかる負担を軽減する職場環境が整えられている。		
21	2	福祉	障害のある人がゆっくり 安全に道を歩く暮らし 	市内は自動車の往来が少なく、段差のない歩道や点字ブロックや音声案内も整備されており、高齢者や障害のある人が歩きやすい。市民には、困っている人をサポートする意識が根づいている。		
22	2	福祉	シニア世代が 短時間のアルバイトで 小遣いを稼ぐ暮らし 	体に負担の少ない短時間の業務をシニア世代に割り振るしくみがあり、多くの人が就業して社会参加しながら小遣いを稼ぐ。生活にハリが出て元気な高齢者が多くなり、勤労世代の負担が軽くなる。	①介護支援ボランティア活動事業 ②塩釜市シルバー人材センター運営助成事業	①②福祉子ども未来部高齢福祉課
23	2	福祉	近くにかかりつけの町医者 がいる暮らし 	子どもが急に熱を出したので近くの医院に駆け込んだ。生まれた時から診てもらっているので安心して受診できた。祖父母は定期的な往診を受けていて、総合病院への入院を手配してもらったこともある。		
24	3	生活	町の空き家を生かす暮らし 	街中に残る古い住居はきれいにリフォームされ、子育て世代の夫婦が住んでいる。近くの商店におつかいに走る子供たちの姿が日常的に見られる。	空家等対策計画策定事業	総務部政策課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
25	3	生活	おいしい水がある暮らし 	水道から流れる良質な水を使って、自宅でおいしい食事。乾いた喉を水道水で潤す市民が多く、清涼飲料水が売れない町になった。	①第7次配水管整備事業 ②第2次老朽管更新事業	上下水道部上水道課
26	3	生活	海が近くにある暮らし 	海辺にはいつも、犬と散歩する人や釣りを楽しむ人の姿が見られる。一度は汚れた海の水も年々きれいになってきた。湾内に形成された干潟では子どもたちがカニやゴカイを見つけて歓声をあげる。	浦戸諸島海岸清掃事業	産業建設部商工観光課
27	3	生活	夏にカブトムシを見つける暮らし 	夏、丘の上の自然公園ではカブトムシを見つけた子供たちが歓声をあげる。木々が茂る場所は市内に多くあり、時には住宅地の公園でカブトムシが見られることも。		
28	3	生活	海が見える公園でバーベキューを楽しむ暮らし 	海が見える公園で、家族でバーベキュー。お腹がいっぱいになったら、芝生を走り回る子供たちを見守りながら、パパとママはゆっくりと時間を過ごす。		
29	3	生活	「買出しツアー」で商店街に買い物に行く暮らし 	週に2～3回、近隣住民どうしが1台の車に乗り込んで商店街に買い物に行く。日常の買い物や用事を済ませられるので、運転免許を返納する高齢者が多くなった。	交通安全対策事業（高齢ドライバー運転免許証自主返納推進事業）	市民生活部市民課
30	3	生活	防災訓練で地域住民の状況を共有する暮らし 	年に2回、町内会単位で防災訓練が開催され、ほとんどの住民が参加する。訓練後にはみんなで鍋や豚汁を食べながら、災害時に支援が必要な住民の情報などを共有する。	塩竈市総合防災訓練	総務部危機管理課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
31	3	生活	コミュニティFMで 地域情報を得る暮らし 	コミュニティFM では日々、生活に役立つ地域情報が流れている。投稿やリクエストを通じたラジオ上での交流もさかん。災害時の情報源としても市民の信頼が厚い。インターネット経由で聴く人も多い。	①防災啓蒙事業 ②地域放送活用事業	①総務部危機管理課 ②総務部秘書広報課
32	3	生活	地図や地名の歴史を学び 災害に備える暮らし 	古地図に描かれた古い海岸線や地名に残るヒントをもとに、地区ごとの災害リスクについて学ぶ。知見は「津波防災センター」に集約されるとともに市民に共有され、地域社会の防災力が高まった。	①津波防災センター運営事業 ②しおがま「何でも」体感団 (防災学習)	①総務部危機管理課 ②教育部生涯学習課
33	3	生活	丘の上の空き家を 改装したカフェで 談笑する暮らし 	海が見える丘の上の空き家を地域のみんなで改装してカフェを作った。コーヒーやケーキのほかお茶や和菓子もあり、日々、さまざまな世代の住民が坂を登って集まってきては談笑している。		
34	3	生活	空き店舗で麻雀卓を 囲んで笑い合う暮らし 	「シャッター通りからウェルネスの聖地へ」を合言葉に空き店舗の活用が進められた。麻雀、囲碁、将棋などを楽しめるスペースもでき、商店街がにぎやかになるとともに新たな雇用も生まれた。		
35	3	生活	徒歩とバスと電車で 移動する暮らし 	バスの本数が多く、市内や近隣市町への用事はバスと徒歩で済ませられる。市内に4つある駅は、市外へ出かける市民の足としてよく利用されている。自家用車を使う人が減って道が安全になった。	①総合交通体系整備事業 ②バス運行補助金助成事業	総務部政策課
36	4	産業	近所に行きつけの店が ある暮らし 	地域には個人経営のさまざまな店があるので、たいていの買い物は徒歩圏内で済ませている。店主も客も同じ地域の住民。毎日の買い物の中で信頼関係が生まれている。	中心市街地商業活性化事業	産業建設部商工観光課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
37	4	産業	漁師や農家・林業家の 仕事に肌で触れる暮らし 	市内や近隣市町の漁師、農家、林業家の協力を得て、漁業・農林業体験をする。近隣市町との連携によって、子供たちは地域の産業について幅広く知ることができる。		
38	4	産業	自分で釣ったハゼで 正月の雑煮を作る暮らし 	正月の雑煮のダシに「焼きハゼ」を使う家庭が多い。秋になると、各家庭ではハゼを焼いて干す光景が見られる。ハゼは自分で釣る人が多く、たくさん釣れたら近所におすそ分けする。	しおがま `何でも`体感 団（船釣り体験）	教育部生涯学習課
39	4	産業	魚市場で干物作りを 体験する暮らし 	魚市場の調理室で定期的開催される市民向け料理教室で、市内の加工業者が講師となって旬の魚介を使った料理を作る。魚市場職員の案内でセリを見学し、流通についても学ぶ。	各種料理教室	産業建設部水産振興課
40	4	産業	桜味のスイーツを 味わう暮らし 	市内の菓子店が共同開発した桜味のスイーツが塩竈の新名物となり、市民にとって春を待つ楽しみが一つ増えた。市内でしか買えないため、市外に住む友人に自慢げに送るのも楽しみ。		
41	4	産業	海の恵みに感謝して 大漁旗を掲げる暮らし 	1年に1回、海の恵みに感謝する祭りが開かれる。港や市場には大漁旗が翻り、市民は海産物をお腹いっぱい食べる。地元酒蔵による振る舞い酒を楽しみにしている人も多い。	①塩釜魚市場どっと 祭・魚市場開放まつり ②観光プロモーション 事業	①産業建設部水産振興課 ②産業建設部商工観光課
42	4	産業	地元産かまぼこを使った 「塩竈おでん」を楽しむ 暮らし 	市内の食品加工業者が知恵を出し合って完成した「塩竈おでん」が、地元の味として定着した。市内の飲食店で「おでん」を注文すると「塩竈おでん」が出てくるのが普通。		

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
43	4	産業	いいことがあると寿司で 祝う暮らし 	誕生日や結婚記念日など、お祝い事で寿司を食べる家庭が多い。寿司店はお祝い用の華やかな盛り付けを工夫している。地域の祭りでは長い鉄火巻きをみんなで作って楽しむ。	観光プロモーション事業	産業建設部商工観光課
44	4	産業	塩竈のソウルフードを 伝える暮らし 	塩竈汁や焼きガキ、地元産かまぼこを使った塩竈おでんなどが市民のソウルフードとして定着した。家庭でも地域の集まりでも食べる機会が多く、大人も子どもも大喜びする。	さかな丸ごと食育	産業建設部水産振興課
45	4	産業	毎週開かれる市に 手作り品を持ち寄る暮らし 	地域の広場でフリーマーケット形式の市が毎週開かれ、住民らが手作りの食品や小物などを販売する。物々交換での取引もさかん。楽器演奏の指導などサービスを売る人もいる。		
46	4	産業	地元産食材を使った 郷土料理が食卓に並ぶ 暮らし 	日々の食卓には地場産の魚介や野菜などを使った料理が並び、老舗酒蔵の地酒で晩酌をする。ご近所の集まりで「晩のおかず」を持ち寄る機会が多く、人気のおかずが郷土料理として定着した。	親子deキッチン	教育部生涯学習課
47	4	産業	塩竈で水揚げされた 魚介を仲卸市場で選ぶ 暮らし 	魚市場にはマグロ以外にもさまざまな魚介が揚がる。仲卸市場にはそれらの魚介のほか青果、精肉などが並び、仲卸市場での買い物の醍醐味は、食材の旬やおいしい食べ方を店の人に聞けること。	塩釜魚市場どっと祭 市場 de マルシェ 市場 de B B Q(R5年完了) こどもチャレンジラボ 等	産業建設部水産振興課
48	4	産業	人々が行き交う駅前 で買い物や食事を楽しむ 暮らし 	駅前には地元商品を扱う店や塩竈の食材を使った食べ物を提供する店が並び、いつも多くの人が行き交う。店と客とのコミュニケーションの中で新たな商品や料理が生まれることも多い。	中心市街地商業活性化事業	産業建設部商工観光課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
49	4	産業	季節の地酒と肴を楽しむ暮らし 	市内の酒蔵が季節ごとに発売する酒は塩竈の風物詩のひとつとなり、毎年、辛党の市民が待ちわびる。飲食店では、地元の食材を使い、地酒に合わせた季節の料理を提供している。	①観光プロモーション事業 ②物産協会助成事業	産業建設部商工観光課
50	4	産業	勤めながら小商いを始める暮らし 	会社に勤めながら、農林漁業や作家活動、加工食品製造など趣味や特技を生かせる分野で「小商い」を始めて副収入を得る。副業が軌道に乗り、会社を辞めて本業にする人も多い。		
51	4	産業	海で遊ぶ暮らし 	市内外からたくさんの方が訪れ、釣り、海水浴、シーカヤックやSUP、海辺でのバーベキューなど、海での遊びを楽しむ。海辺が活性化するにつれ、多くの雇用も生まれた。	①港湾利活用促進事業 ②観光物産協会助成事業 ③しおがま「何でも」体感団（カヌー体験）	①産業建設部商工観光課 ②産業建設部商工観光課 ③教育部生涯学習課
52	4	産業	牡蠣殻を用いた商品を生産する暮らし 	牡蠣殻を活用して建築資材や土壌改良剤を作る事業が地場産業として発展し、雇用を生んだ。市内の農地では牡蠣殻の土壌改良剤が普及し、おいしい野菜がとれるようになった。		
53	4	産業	地元産食材を用いて「作って食べる」を楽しむ暮らし 	日常的に料理をする人が多くなり、地元食材に対する関心が高まった。牡蠣やホヤの殻をむく、めかぶを湯通しして刻むなどの下処理は、小さい頃から経験する機会が多く、誰もが自分でできる。	がまっこお魚研究室「カキ編」	産業建設部水産振興課
54	5	交流	鹽竈神社からの風景を眺める暮らし 	気分転換に、鹽竈神社から千賀の浦（塩釜湾）の風景を眺める。神社にはほかにも、鹽竈神社博物館屋上からの風景や表参道を見上げる構図など、市民に人気の景観がある。	観光プロモーション事業	産業建設部商工観光課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
55	5	交流	初デートで本町を歩く 暮らし 	初めてのデートで本町を歩き、少し背伸びをしてシックなカフェでケーキを食べる。初々しい2人をカフェ店主も町の人もあたたかく見守っている。次のデートでは浦戸に行く約束をする。	①門前町活性化事業 ②婚活支援事業	①産業建設部商工観光課 ②総務部政策課
56	5	交流	門前町の風情を感じる 暮らし 	鹽竈神社周辺では古い建物が店舗などとして活用され、門前町の風情がたどる街並みが形成されている。御釜神社や道端のベンチには談笑する人の姿が見られる。	門前町活性化事業	産業建設部商工観光課
57	5	交流	「食」をテーマにした 祭りで近隣市町と交流する 暮らし 	年に数回、魚市場や仲卸市場、神社周辺などで食をテーマにした祭りが開かれる。近隣市町でとれた野菜や米、果物などの作物や、各地域の名物料理が集まり、広域的な交流の場となる。		
58	5	交流	船で行われるパーティーに 参加する暮らし 	松島湾を遊覧する船上でパーティーが催される。参加者は景色を眺めつつ、海産物やお酒など塩竈の味を楽しみながら会話を弾ませる。仕事や恋愛のパートナーに出会う人も多い。	婚活支援事業(R5)	総務部政策課
59	5	交流	岸壁でのんびり 釣りをしながら海を眺める 暮らし 	天気の良い日は岸壁で釣りをする人の姿が多い。釣った魚は料理して食べる。釣れなくても、穏やかな海をのんびり眺めれば最高のリフレッシュになる。		
60	5	交流	地域の魅力を撮影して 発信する暮らし 	市内在住のカメラマンが地域の祭りや名所、特産品、話題の料理やスイーツなどを撮影し、市内外に発信している。地域の魅力を撮影した写真のコンテストも毎年開催されている。	塩竈の魅力発信事業	総務部秘書広報課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
61	5	交流	オシャレして街に出かける暮らし 	年齢を問わずおしゃれを楽しむ人が多く、みんな自信に満ちた姿でカッコよく歩く。学生の間にはデートの服装を祖母に選んでもらうとうまくいくという都市伝説が生まれた。		
62	5	交流	子どもたちが塩竈の魅力を人に伝える暮らし 	塩竈の歴史・文化に関心を持って勉強会などで学ぶ市民が多く、子どもたちも学校や地域で町の魅力を知り人に伝える学習活動をしている。観光ガイドのボランティアに参加する中高生が多い。	ジュニアリーダー育成事業	教育部生涯学習課
63	5	交流	子どもたちが外国人と交流する暮らし 	子どもたちにとって言語や生活様式の異なる人が身近にいることは当たり前のこととなった。日常的な交流を通し、互いの文化を尊重して受け入れる姿勢が自然に身についている。	①国際交流事業 ②外国語指導助手配置事業 ③小中学校総合的学習推進事業	①教育部生涯学習課 ②教育部学校教育課 ③教育部学校教育課
64	5	交流	地域に花を植えて交流する暮らし 	子どもたちが学校の授業で種をまいて苗をつくり、地域のシニア世代と協力して歩道のプランターや公園の花壇に植えた。作業を通して世代を超えた交流が生まれている。毎年、四季の花が地域を彩る。	緑と憩い再生事業	産業建設部土木課
65	6	文化	地域のサークル活動で生きがいを感じる暮らし 	各町内会では俳句、写真、植物、ソフトボールなどさまざまなサークルが活発に活動していて、住民の生きがいになるとともに、地域内外の住民同士の交流の場になっている。	社会教育関係団体の認定	教育部生涯学習課
66	6	文化	鹽竈神社に見守られながら、鹽竈神社を見守る暮らし 	多くの市民が常に鹽竈神社の加護を感じ、初詣、結婚、七五三、合格祈願などの節目には挨拶に訪れる。神社の営みや環境を維持するのも市民の力によるところが大きい。	指定文化財保護事業 (鹽竈神社防災施設整備)	教育部生涯学習課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
67	6	文化	鹽竈神社の桜を 愛でる暮らし 	鹽竈神社で、国の天然記念物・シオガマザクラをはじめ さまざまな種類の桜を鑑賞する。花見の後に境内の茶店で 団子を食べるのは王道。花見の前に食べるのは多数派。	文化財保護管理指導事 業（文化財パトロー ル）	教育部生涯学習課
68	6	文化	退職後、学校に通って 学び直す暮らし 	地域の小中学校で、教養を深めたい人や資格取得を目指 す大人のための講座が開かれ、多くの中高年が通う。子ど もたちと一緒に学び、交流できる講座もある。		
69	6	文化	音楽イベントに出演する 暮らし 	「GAMA ROCK FES」は秋の音楽イベントとして定着 した。ほかにも駅前広場や市内のホールなどで音楽イベン トが毎月のように開催され、多くの市民が出演者や観客と して楽しむ。		
70	6	文化	自分の作品が町に 展示される暮らし 	市内で活動するアーティストやアートを学ぶ学生の作品 が、公共施設、公園、道路などに展示されている。ところ どころに有名作家の作品も置かれ、町全体が美術館のよう になった。	塩竈市美術展	教育部生涯学習課
71	6	文化	松尾芭蕉の足跡をたどる 暮らし 	松尾芭蕉が歩いた道を散策するウォーキングツアーに参 加する。インストラクターによる解説を聞きながら歩くこ とで、多賀城・松島など周辺地域との文化的つながりを感じ られる。	日本遺産「“伊達”な文 化」魅力発信推進事業	教育部生涯学習課
72	6	文化	街角のライブ パフォーマンスに 足を止める暮らし 	駅前広場や公園などでは歌や楽器演奏、大道芸などのパ フォーマンスが日常的に繰り広げられ、街に笑顔と活気を もたらす。塩竈のストリートは多くの有名アーティストを 輩出した。		

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
73	6	文化	土地の文化をアートで表現する暮らし 	地域に根付いてきた生業や暮らしを掘り下げ、絵画作品や楽曲で表現し続けるアーティストがいる。作品は地域住民らにとって、土地の文化を捉え直す機会となる。	アートプロジェクト事業	教育部生涯学習課
74	6	文化	古今東西のアート作品に触れる暮らし 	美術館やギャラリーでは国内外の有名作家や地元の若手などさまざまな芸術家の作品に触れることができる。劇場では演劇や人形劇、神楽などが頻繁に上演され、舞台アートの世界を楽しめる。	美術館運営事業	教育部生涯学習課
75	6	文化	趣味・特技を発表し合う暮らし 	市の芸術文化祭や町内会単位の展覧会、発表会など、活動の成果を発表する場が多くある。人に見られるという刺激は、活動を続ける上での意欲につながる。	しおがま「何でも」体感団（神楽体験）	教育部生涯学習課
76	6	文化	活気に満ちあふれた塩竈の様子を後世に伝える暮らし 	江戸時代に仙台藩の庇護を受け門前町や花街、流通拠点として賑わった歴史は郷土史家らによって詳らかになり、書物や芸術作品として残され、地域住民らにも知られるようになった。	①ふるさと学習副読本事業「塩竈の歴史」 ②文化財保護事業（塩竈神楽）	教育部生涯学習課
77	6	文化	点在する「新旧ランドマーク」に親しむ暮らし 	寺社、碑、老舗などの歴史的な建造物と、壱番館やエスプのような近代的で機能的な建物が調和した街並みは、古いものと新しいものを柔軟に取り入れるこの町の文化を象徴している。	塩竈学まちづくり学習事業	教育部生涯学習課
78	6	文化	道や橋を名前でごよ暮らし 	市内の多くの道や歩道橋には「中藤通り」「楓坂」「かっぱ橋」など地域住民がつけた名前がある。住民どうしの会話で愛着をもって用いられるうちに、行政上の名称としても定着した。		

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
79	6	文化	文化財を舞台に文化を 紡ぐ暮らし 	勝画楼、旧えびや旅館、杉村惇美術館など、地域の歴史を物語る建築物は市民の手によって大切に保存されている。人々が学び、交流する場として活用され、新たな文化が紡がれている。	①塩竈市文化財保存活用地域計画策定事業 ②Web博物館事業「文化の港シオーモ」	教育部生涯学習課
80	6	文化	ストリートでダンスの技を 磨き合う暮らし 	市内の路上ではさまざまなレベルのダンサーがパフォーマンスや練習をする姿が見られる。互いに技を見せ合ったり経験者が初心者にアドバイスしたりするなど、ダンサーどうしの交流もさかん。		
81	6	文化	近所のミニシアターで 気軽に名画を楽しむ暮らし 	小規模な映画館が点在し、気軽に映画を楽しめる。名画座、自主制作映画専門、ドキュメンタリー専門など館によってコンセプトが異なり、大手シアターでは扱われない作品が上映されることが多い。	遊ホール事業	教育部生涯学習課
82	6	文化	図書館で読書会に 参加する暮らし 	図書館で司書の助言を受けながらさまざまな書物に触れ、思考を深める。時々開催される読書会に参加すると、他者の視点を感じたり新たな分野の面白さに気づいたり刺激的な経験ができる。	①市民図書館運営事業 ②第3次子供読書推進計画	教育部生涯学習課
83	7	協働	初詣やお祭りの日に 屋台で食べ歩く暮らし 	大晦日・元日や、神社の祭りの日には、裏坂周辺に並ぶ食品や遊戯などの屋台でお祝い・お祭り気分を満喫。一帯は親子連れや仲間と集まった小中高生らで賑わっている。		
84	7	協働	地域みんなで たるみこしを作り、 町内へ繰り出す暮らし 	ある地区では毎年、地域住民が集まってたるみこしを作る。作り方はシニア世代から若者、子供たちへ受け継がれていく。ほかの地区でも、それぞれに、多世代が交流できるさまざまな慣習が根付いている。	①協働推進室・マリンプラザ運営事業 ②協働まちづくり提案事業	市民生活部市民課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
85	7	協働	地域誌・ミニコミ紙で 地域の情報を得られる暮らし 	地域の個人や団体が発行する小メディアから、地域の情報を得る。投稿など紙面（誌面）上への読者参加も活発で、地域メディアが文化交流の場となっている。	協働推進室・マリンプラザ 運営事業	市民生活部市民課
86	7	協働	みんなが休む日がある 暮らし 	地域の商店がすべて休みの日があり、誰もがのんびり暮らす。地域の祭りやイベントは休みの日に開催され、店主や地域の子どもたちが参加して賑やかになる。	①協働まちづくり提案事業 ②コミュニティ強化支援事業	市民生活部市民課
87	7	協働	町内会や小さな コミュニティに参加する 暮らし 	市内のどの地区でも住民どうしの交流がさかん。地域活動においては子どもたち、親世代、高齢者がそれぞれの役割を果たし、和やかで暮らしやすい地域づくりに貢献している。	①協働まちづくり提案事業 ②コミュニティ助成事業 ③コミュニティ強化支援事業	市民生活部市民課
88	7	協働	バスで行く「清掃ツアー」 に参加する暮らし 	市内の観光スポットや公園などをバスで巡って清掃するボランティア活動が盛ん。実際にはゴミはあまりないが、参加者にとっては健康増進だけでなく地域の魅力の再発見につながる。		
89	7	協働	経験を生かして 「ちょこボラ」で活躍する 暮らし 	個々の経験や特技を生かせることから誰でもできることまで、ボランティアに参加できる場面が豊富にある。誰しも、地域の役に立っていると思えると暮らしに張り合いが出る。		
90	7	協働	まちの未来を語り合う 暮らし 	高齢者と若者が一緒になって理想のまちづくりを語り合う場がある。誰もが「地域の子供たちにどんな塩齋を残すのか」を真剣に考え、意見を交わす。議論の内容は市政に生かされる。		

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
91	7	協働	かまぼこ作りを通して 魚や水産業について 学ぶ暮らし 	小中学校では魚を釣ってかまぼこを作る体験学習が定番。漁師や水産加工業者、研究施設の職員らが講師となり、魚のさばき方、調理法のほか、海洋環境や水産資源の現状について学ぶ。		
92	7	協働	ムスリムの友人と レストランで食事する 暮らし 	市内には多くの外国人が住んでいるため、多くの飲食店が、さまざまな宗教や食文化に対応したメニューを用意している。アレルギーのある人でも食べられる料理を提供する店も多い。	①多文化共生 ②国際交流事業	①総務部政策課 ②教育部生涯学習課
93	7	協働	大人と中高生が 同じテーマで意見を 交わし合う暮らし 	カフェやコミュニティスペースでトークイベントが開催される。毎回テーマを決め、大人も中高生もそれぞれの視点で考えを述べ合う。会場は和やかな雰囲気、イベント終了後は雑談に花が咲く。	塩釜高校との意見交換会	教育部生涯学習課
94	8	浦戸諸島	浦戸に住んで漁師を 目指す暮らし 	漁師を志す人が浦戸に長期滞在しながら漁師の指導を受け、技術の習得と独立を目指す。その活動を支援するしくみがあり、地元漁師も後継者育成のために協力を惜しまない。	浦戸再生プロジェクト推進事業	総務部政策課
95	8	浦戸諸島	浦戸で農作物を 収穫できる暮らし 	島に農地を借りて好きな野菜を植え、週末には草取りや水やりに行く。収穫の楽しみを味わえるだけでなく、屋外での作業で体力がついた。松林ではマツタケも取れる。	浦戸再生プロジェクト推進事業	総務部政策課
96	8	浦戸諸島	浦戸の菜の花を 活かす暮らし 	浦戸に広がる菜の花畑はウォーキングコースとして人気。島のカフェでは菜の花のハチミツを使ったスイーツや菜の花の漬物を味わえる。春に島の民宿に泊まると食事は菜の花づくし。	浦戸再生プロジェクト推進事業	総務部政策課

No.	分野 NO.	分野名	暮らし	暮らしの概要	関連事業名 ※該当する場合のみ	部課名
97	8	浦戸諸島	浦戸で働きながら 余暇を楽しむ暮らし 	浦戸に宿泊しながらパソコンで仕事。仲間との打ち合わせや営業先との交渉もオンラインでできる。仙台や東京からワーケーションで来ている人も多い。	浦戸再生プロジェクト推進事業	総務部政策課
98	8	浦戸諸島	船が身近にある暮らし 	浦戸や松島、宮戸島などへの移動手段として、日常的に船を利用する。松島湾には多くの釣り船が浮かぶ。小型船のシェアリングがさかんになり、自分で操船する人も増えた。	①浦戸再生プロジェクト推進事業 ②離島航路事業	①総務部政策課 ②市民生活部浦戸振興課
99	8	浦戸諸島	浦戸で休日を過ごす暮らし 	休日は浦戸の島を訪れ、ツバキの遊歩道や菜の花畑を歩き、丘の上から海を眺める。お昼は島の民宿や食堂で海苔や牡蠣やシラウオなどを使った料理を食べる。宿泊して島を堪能する人も多い。	①浦戸再生プロジェクト推進事業 ②うらと子どもパスポート事業 ③ジュニアリーダー育成事業	①総務部政策課 ②市民生活部浦戸振興課 ③教育部生涯学習課
100	8	浦戸諸島	浦戸で白菜を育てる暮らし 	浦戸の住民が浦戸産の種から育てる白菜は「浦戸白菜」として仙台白菜とは別の新たなブランドになった。市内の子どもたちが畑に通って栽培、採種を体験し、収穫した白菜は給食で味わう。	①浦戸再生プロジェクト推進事業 ②白菜事業	①総務部政策課 ②産業建設部水産振興課